

土井ヶ浜遺跡第 15 次発掘調査貝だまり遺構出土貝類の分析

畑山智史¹⁾・小林善也²⁾

1. はじめに

1996（平成 8）年におこなわれた土井ヶ浜遺跡第 15 次発掘調査（以下、第 15 次調査）では、古墳時代後半期の貝類を中心とする多数の動物遺存体が出土した貝だまり遺構が確認され、その成果は報告書（山田編 1997）によってすでに公表されている。そこでは、おもに出土貝類の概要が示され、当時の土井ヶ浜遺跡周辺の自然環境の復元を視野に入れた報告がなされている。ただし、報告書にも明記されるように、貝だまり遺構出土の貝類について定量的な分析に基づいた考察の必要性が課題として残された。

そこで、本稿ではこの貝だまり遺構から出土した全ての貝類について同定・分析をおこない、当時の食性環境についても若干の指摘をすることで、古墳時代の土井ヶ浜遺跡の立地環境と人間動態を究明するための基礎資料としたい。また、山口県においては古墳時代の遺跡出土動物遺存体の詳細な報告例は未だ少ないため、当時の人々の水産資源利用の一端を知るうえでも有用なものとなろう。

なお、本稿の文責は第 1・2・5 章を小林が、第 3・4 章を畑山が分掌し、全体の編集は両者協議のもとに小林がおこなった。

2. 第 15 次調査の概要と貝だまり遺構

(1) 調査の概要

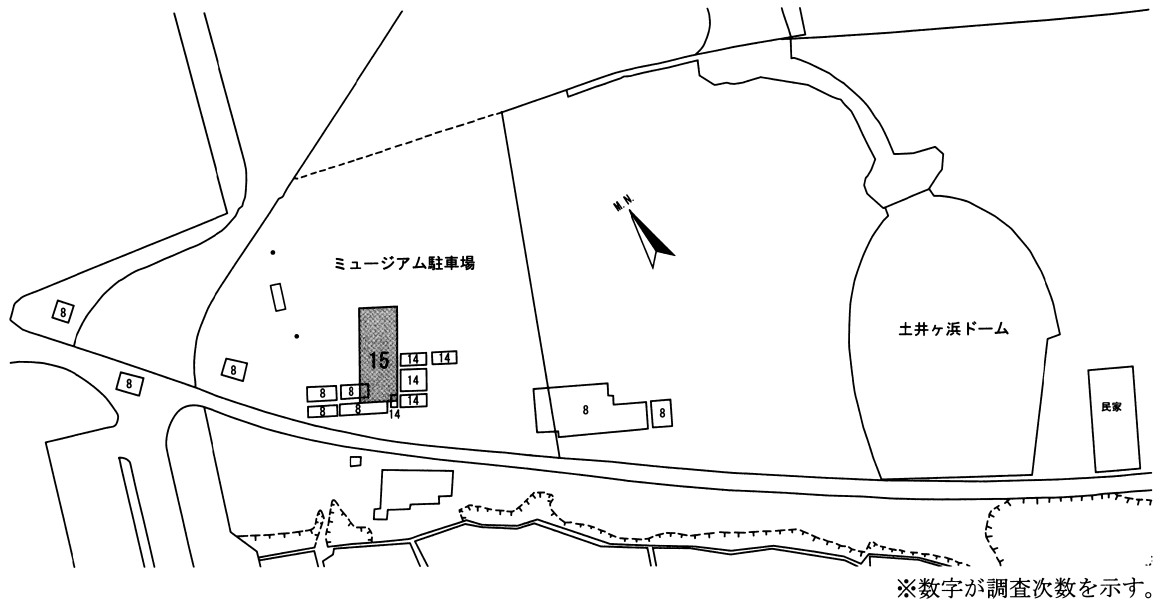
土井ヶ浜遺跡は山口県の北西部、下関市豊北町の響灘に面した土井ヶ浜海岸の後背地にある標高 5 m 前後の砂丘に立地する（第 1 図）。1953（昭和 28）年の第 1 次発掘調査以来、これまでに 19 回にわたる発掘調査が実施され、著名な弥生時代前期～中期の埋葬遺構をはじめとして、古墳時代、中世にも人間活動の痕跡が認められている。以下、報告書（山田編 1997）に依拠しつつ、第 15 次調査および貝だまり遺構について概述する。

第 15 次調査は 1996（平成 8）年 10 月 7 日から 11 月 15 日にかけて行われた。調査地点は 1983（昭和 58）年の第 8 次調査地点および 1995（平成 7）年の第 14 次調査地点の中間地点に相当し、そこに南北 15 m、東西 6 m のトレンチが調査区として設定された（第 2 図）。調査面積



- | | | | |
|-----------|-------------|---------|------------|
| 1. 土井ヶ浜遺跡 | 2. 宮ノ下遺跡 | 3. 松成遺跡 | 4. 土井ヶ浜南遺跡 |
| 5. 切畑遺跡 | 6. 片瀬遺跡 A 区 | 7. 森広遺跡 | 8. 波原遺跡 |

第 1 図 土井ヶ浜遺跡周辺の古墳時代遺跡 (1/50,000)



第2図 第15次発掘調査の位置 (1/12,000)

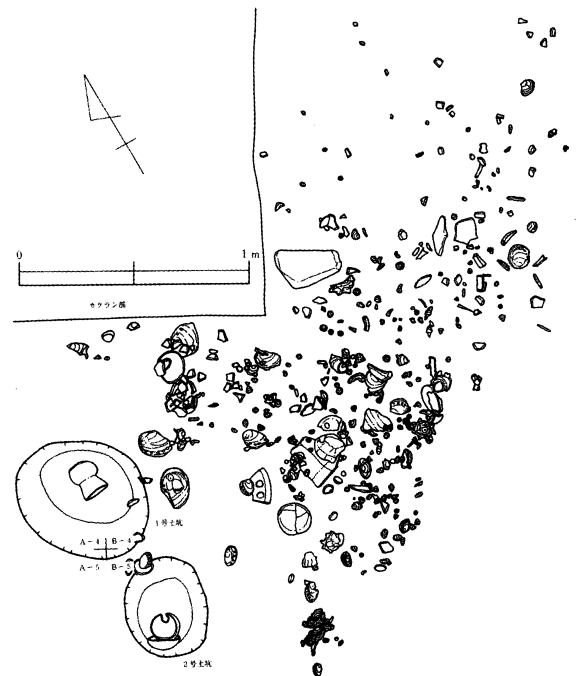
は96㎡である。

本調査区は、かつて国道191号線工事の際の土採りにより、調査区の北半部は深く攪乱を受けていた。そのため、遺構および遺物の確認は南半部に限られ、貝だまり遺構1基と土坑3基が検出された。遺物は弥生時代前期～中期の弥生土器や古墳時代の土師器、さらには中世の土師器などが出土している。調査地点の堆積土層は大きく1層から7層に区分され、4層についてはa、b、cの3層に細分されている。このうち、今回分析する貝類を出土した貝だまり遺構は3層から4a層の層準で検出されたものである。なお、本調査地点の南半部は第8次調査区(乗安編1983)および第14次調査区(松下・有福編1996)と一部重複しているが、とりわけ第14次調査の14-4区は、第15次調査区の南半部分の多くを占めており、貝だまり遺構の一部はすでに第14次調査時に発掘されている³⁾。

(2) 貝だまり遺構について

先述のとおり、本遺構は調査区の南半部で検出された動物遺存体を主体とする遺構である(第3図)。報告書(山田編1997)では3層から4a層にかけての出土とされ、検出面自体は3層の有機質に富んだ黒褐色砂層(5YR2/2)と考えられる。

遺構の一部は、近現代の井戸掘削時に破壊されているため正確な範囲は不明であるものの、遺物の出土は長径6m、短径5mほどの範囲に認められ、とりわけ第3図に示される径2mの範囲に集中する。本遺構には人為的な掘り込みは認められず、検出地点は砂丘面が南から北に



第3図 貝だまり遺構平面図(山田編1997より転載)

向かって緩やかに傾斜する変換点にほぼ相当することから、窪地状地形の肩部付近に形成された遺構と考えられている。

出土遺物は貝類のほかにも、シカやイノシシの四肢骨やイシダイ属やスズキ属などの顎骨や脊椎も少ないながら確認されたほか、ほぼ完形の長頸壺や坏、甑などの土器や敲石も出土している。これらの遺物は基本的に一定の範囲に散在して出土しているが、なかにはバカガイが一箇所に集積されたり、土器が意図的に埋置された状態で出土するなど、この地点の遺構形成過程に人為的行為が強くおよんでいることが窺われる。また、本遺構に伴うように検出された2基の土坑のうち、1号土坑からは完形の長頸壺のなかに完全なウニ類の殻体が納められ、2号土坑からは口縁の一部が打ち欠かれた完形の坏が重ねられた状態で2点出土している。

このような貝だまり遺構の時期については、本遺構および1号土坑、2号土坑出土土器を5世紀後葉から6世紀にかけての土師器とみなし、この時期にかけて形成された遺構と考えられている。また、本遺構の性格については遺物の出土状況から祭祀に関係する遺構の可能性を考慮しつつ、結論的には大きく幅をもたせ古墳時代の生活址と推定している。このような遺構評価については、同じく出土した貝類以外の動物遺存体や土器などを含めて再検討をおこなったうえで総合的に評価する必要性を感じているが、今回は出土した貝類の同定・分析が主目的であるため、本遺構の時期や性格についてはひとまず報告書（山田編 1997）に準じておきたい。

3. 出土貝類の分析

(1) 出土貝類の概要

貝だまり遺構出土の貝類は586点、3門4綱7目15科19属24種が同定された。貝種は、表1に示すとおり海水に生息する種で占められ、わずかに陸貝やフジツボ類、ウニ類が確認された。以下にその概要を示す。

ミミガイ科（アワビ類） *Haliotidae*

日本沿岸に生息するミミガイ科の多くは、岩礁に生息する。破片であるため、水管孔などの同定基準が観察できず、種を特定することが困難であるが、マダカアワビ、メガリアワビ、クロアワビ、トコブシのいずれかと考えられる。フジツボ類が固着した個体（SH164-1）が観察された。

クロアワビ *Haliotis (Nordotis) discus*

日本海側は奥尻以南～九州南部まで分布する。潮間帯から水深25m位の波の荒い岩礁地帯に生息する。普段は岩棚の下に棲んでいるが産卵期（1月～9月）に表面に出てくる。完形2点が出土した。

マダカアワビ *Haliotis (Nordotis) madaka*

房総半島以南（太平洋側）及び日本海西部の沿岸から九州までに分布する。外洋の岩礁地帯10～50mのところのところに生息する。響灘ではメガリアワビ *Haliotis (Nordotis) gigantea*（潮間帯から水深50mの岩礁に生息）との区別は不明確であり、類似した個体が多く出現する（福田ほか1992）。そのため、

第1表 土井ヶ浜遺跡第15次発掘調査貝だまり遺構出土の貝類種名表

軟体動物門 Mollusca

腹足綱 (巻貝綱) Gastropoda

オキナエビスガイ目 (原始腹足類) Archaeogastropoda

ミミガイ科 (アワビ類) Haliotidae

- クロアワビ *Haliotis (Nordotis) discus* ……沿岸岩礫性群集
- マダカアワビ *Haliotis (Nordotis) madaka* ……沿岸岩礫性群集
- トコブシ *Sulculus divricolor supertexta* ……沿岸岩礫性群集

ツタノハガイ科 Patellidae

- マツバガイ *Cellana nigrolineata* ……内湾岩礫性群集

ニシキウズガイ科 Trochidae

- イシダタミ *Monodonta labio confuse* ……内湾岩礫性群集
- クボガイ *Chlorostoma lischkei* ……内湾岩礫性群集
- オオコシダカガンガラ *Omphalius pfeifferi carpenteri* ……内湾岩礫性群集
- クマノコガイ *Omphalius xanthostigma* ……内湾岩礫性群集

リュウテンサザエ科 Turbinidae

- サザエ *Turbo (Batillus) cornutus* ……沿岸岩礫性群集
- スガイ *Turbo (Batillus) cornatus coreensis* ……内湾岩礫性群集

ニナ目 (中腹足類) Mesogastropoda

ムカデガイ科 Vermetidae

- オオヘビガイ *Serpulorbis (Cladopoma) imbricatus* ……内湾岩礫性群集

ウミニナ科 Potamididae

- ウミニナ *Batillaria zonalis* ……感潮域群集
- フトヘナタリ *Cerithidea (Cerithidea) ornate* ……感潮域群集
- ヘナタリ *Cerithidea (Cerithidea) cingulata* ……感潮域群集

カリバガサガイ科 Calyptraeidae

- アワブネガイ *Bostorycapulus gravispinosus* ……沿岸岩礫性群集

タマガイ科 Naticidae

- ツメタガイ *Glossaulax didyma* ……内湾砂底群集

バイ目 (新腹足綱) Neogastropoda

アケキガイ科 Muricidae

- イボニシ *Reishia clavigera* ……内湾岩礫性群集
- レイシガイ *Reishia bronni* ……内湾岩礫性群集

有肺目 Pulmonata

オナジマイマイ科 Bradybaenidae

斧足綱 (二枚貝綱) Bivalvia

ウグイスガイ目 Pteriomorpha

イガイ科 Mytilidae

- イガイ *Mytilus corsucus* ……内湾岩礫性群集

イタボガキ科 Ostreidae

- マガキ *Crassostrea gigas* ……感潮域群集

ハマグリ目 Heterodonta

マルスダレガイ科 Veneridae

- ハマグリ *Meretrix lusoria* ……内湾砂底群集
- オキシジミ *Cyclina sinensis* ……内湾砂底群集
- カガミガイ *Phacosoma japonicum* ……内湾砂底群集
- パカガイ *Mactra chinensis chinensis* ……内湾砂底群集

シオサザナミ科 Psammobiidae

マテガイ科 Soleidae

節足動物門 Arthropoda

甲殻綱 Crustacea

フジツボ類 Balanidae

棘皮動物門 Echinodermata

ウニ綱 Echinoidea

※標準和名並びに学名は波部・奥谷 (1983a, b)、奥谷編 (2000)、福田ほか (1992)、生息域は松島 (2003) を参考とした。

同定したマダカアワビにメガイアワビが含まれる可能性はある。最小個体数は4点であった。オオヘビガイが殻表に固着した個体が確認された。

トコブシ *Sulculus divrsicolor supertexta*

潮間帯から水深20mの岩礁に生息する。山口県では日本海側には多いが、瀬戸内海側では少ない種である(福田ほか1992)。完形13点、破片1点が出土した。

ツタノハガイ科(カサガイ類) *Patellidae*

日本沿岸に生息するツタノハガイ科の多くは、内湾の岩礁に生息する。破片であるため、同定基準が観察できず、種を特定することが困難であった。破片1点が出土した。

マツバガイ *Cellana nigrolineata*

飛沫帯から潮間帯の岩礁に固着し、容易にはがれない。北海道を除く各地に分布する。別名、ウシノツメとも呼ばれる。完形2点が出土した。

イシダタミ *Monodonta labio confuse*

潮間帯に最も普通な巻貝の1つで、干潮時は、岩棚の下や転石の下にいる。殻は、丸みがあり堅固。螺肋は平低で、それが縦溝で仕切られ、石畳状である。体層の欠損した個体が1点出土した。

クボガイ *Chlorostoma lischkei*

北海道南部以南～九州、潮間帯から水深20mの岩礁に生息する。臍孔が閉じている。殻体のみで蓋は、出土していない。完形が17点、体層欠損の個体が6点、殻唇欠損の個体が4点、殻唇破片が2点の計29点が出土した。

クマノコガイ *Chlorostoma xanthostigma*

房総半島以南から台湾、中国本土までの潮間帯下から水深10mに生息する。完形が40点、体層欠損の個体が9点、殻唇欠損の個体が14点、体層破片が3点、殻唇破片が2点の計68点が出土した。

オオコシダカガンガラ *Omphalius pfeifferi carpenteri*

樺太以南、主に日本海側九州まで分布している。完形の個体1点が出土した。

サザエ *Turbo (Batillus) cornutus*

北海道南部～九州、朝鮮半島の潮間帯下部から水深20mに生息する。無棘と有棘タイプのサザエ80点が出土した。傾向としては有棘タイプが多い。

スガイ *Turbo (Batillus) cornatus coreensis*

北海道南部～九州南部の潮間帯岩礁に生息する。殻体 68 点、蓋 13 点の計 81 点が出土している。殻体の完形が 39 点、体層欠損の個体が 5 点、殻唇欠損の個体が 12 点、体層破片が 5 点、殻唇破片が 5 点、殻軸破片 2 点である。

オオヘビガイ *Serpulorbis (Cladopoma) imbricatus*

潮間帯の岩礫上に固着している。北海道南部から台湾、中国本土に生息する。マダカアワビに固着した個体 1 点が出土した。

ウミニナ科 (ウミニナ類) Potamididae

日本沿岸に生息するウミニナ科の多くは、内湾の岩礁に生息する。破片や螺頭 (殻頂)、殻唇などの欠損個体は、種を特定することが困難であったが、ウミニナ、フトヘナタリ、ヘナタリのいずれかと考えられる。螺頭 (殻頂) と殻唇の欠損した個体 (SH140-1) が 1 点出土した。

ウミニナ *Batillaria multiformis*

北海道南部以南のインド洋・西太平洋のやや開放的内湾潮間帯中部から下部の泥底や泥の多い干潟に多量に群棲する。完形 2 点、殻頂 (螺頭) 欠損の個体が 1 点出土した。

フトヘナタリ *Cerithidea (Cerithidea) ornate*

東京湾以南、西太平洋の潮間帯、アシ原やマングローブ林など、河口部の汽水域 (低塩水) 泥上に生息する。ウミニナ類やヘナタリ類の中では高潮位でみられる。山口県内は、瀬戸内海ではよくみられるが、日本海側では稀である (福田ほか 1992)。完形が 12 点、体層欠損の個体が 1 点、殻唇欠損の個体が 1 点、殻頂欠損 38 点、殻頂破片 1 点、殻軸破片 1 点、計 54 点が出土した。

ヘナタリ *Cerithidea (Cerithidea) ornate*

本州中部以南から南西諸島にかけて広く分布し、河口部の汽水域 (高塩水) 泥上に生息する。ウミニナよりも低い潮位でみられる。完形 4 点、殻唇欠損が 1 点、殻頂欠損 20 点、体層破片 1 点の計 26 点が出土した。

アワブネガイ *Bostorycapulus gravispinosis*

房総半島以南、インド洋・西太平洋に分布し、他の貝の表面や岩礁に固着している。別名、クルスガイと言う。完形 1 点が出土した。

ツメタガイ *Glossaulax didyma*

北海道南部以南、インド洋・西太平洋の潮間帯から 50m の細砂底に生息する。黒く焼きしまった 1 点 (SH-5-2) のみ出土した。

イボニシ *Reishia clavigera*

北海道南部以南、潮間帯岩礁に多くみられる巻貝である。特にカキ類を好んで、殻表に酸で穿孔して、中の軟体部を食す。34点（完形＋一部欠損 30点）が出土した。

レイシガイ *Reishia Bronni*

北海道南部以南、潮間帯岩礁に多くみられる巻貝である。完形3点が出土した。

オナジマイマイ科 *Bradybaenidae*

有肺目に属する陸貝（カタツムリ）である。完形一部欠損1点と破片1点が出土した。

マガキ *Crassostrea gigas*

淡水影響下の河口部の岩礁等に着生している。潮間帯に生息する小型・重厚なシカメガキ、北方のやや泥深い内湾にすむ細長いナガガキの同一種内の生態型がいる。日本全土及び東アジア全域、汽水性内湾の潮間帯～潮下帯の砂礫底でカキ礁をつくる。左殻7点、右殻14点、左右不明2点の計23点が出土した。完形個体（SH96-2）は小型であり、シカメガキに類似する。カキ付カキ（SH184-1）はあるが礫付カキは確認できなかった。

イガイ *Mytilus corsucus*

北海道南部以南に分布し、岩礁等に固着している。4層より腹縁の欠損した左殻1点が出土した。

ハマグリ *Meretrix lusoria*

北海道南部から九州、潮間帯下部から水深20mの内湾の砂泥底に生息する。殻体の破片が1点出土している。23点について、貝合わせを行い、その結果、5点が同一個体と判明した。

オキシジミ *Cyclina sinensis*

内湾の潮間帯に生息し、ハマグリやカガミガイとともにいる。13点（左殻6点、右殻5点、破片2点）が出土していることから少なくとも6個体（最小個体数）を計数することができた。

カガミガイ *Phacosoma japonicum*

北海道南西部から九州、朝鮮半島や中国大陸南岸の潮間帯下部から水深60mの細砂底に生息する。破片1点（SH30-6）が出土した。

バカガイ *Mactra chinensis chinensis*

北海道以南、内湾、潮間帯下から水深10mの砂泥底に生息する。左殻23点、右殻23点、破片4点が出土した。ハマグリ同様、貝合わせを行ったが、同一個体は確認できなかった。なお、SH-81として取り上げられた集積の内訳は、左殻21点、右殻19点であった。このうち、穿孔のあるバカガイ

は7点であった。

シオサザナミ科 Psammobiidae

殻頂の破片であるため、種の同定が困難であったが、アケボノキヌタに類似する。

マテガイ科 Soleidae

破片であるため種の同定が困難であるが、マテガイやアカマテガイに類似する。破片が4点出土した。

フジツボ亜目 (フジツボ類) Balanidae

破片が多く、主にアワビ類に固着していた個体と考えられる。

ウニ綱 (ウニ類) Echinoidea

既知の通り (山田編 1997)、土器に入れられた完形のウニがある。このウニは、食用には適さない程の小型であり、棘が全て抜けており、殻体の破損がみられなかった。食用以外の利用の可能性も示唆される。貝だまり遺構から棘や殻体の破片が出土しているが咀嚼器は出土していない。

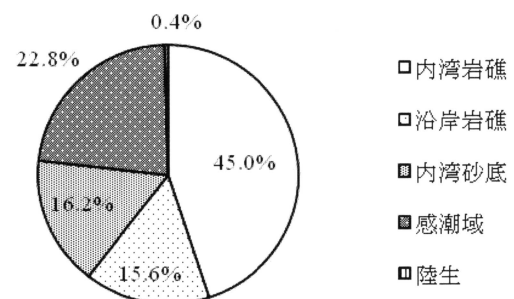
4. 貝類からみた古環境と食性

(1) 古環境について

報告書 (山田編 1997) によると貝だまり遺構出土動物遺存体から読み取れる当時の土井ヶ浜遺跡周辺の環境は、やや水深がある岩礁帯や砂浜が広がるとともに、アシ原や河口に近接した小規模な汽水水域の存在を推定している。また現在の遺跡周辺の環境は、その当時とはほぼ一致するとの見解である。

貝だまり遺構から出土した貝類について改めて定量的に分析をおこなった結果、計数できた貝種は456点 (腹足綱 359点、斧足綱 97点) であった。このうち、内湾岩礁の種が205点 (45.0%)、沿岸岩礁の種が71点 (15.6%) と岩礁を生息域とする種で6割を占める (第4図)。この結果、本遺構における貝採集活動は、内湾の岩礁から水深の深い沿岸部の岩礁で主におこなわれたことが理解される。

次いで多い貝種の生息域は、淡水の影響下にある感潮域の種で104点 (22.8%) であった。報告書 (山田編 1997) ではウミナナやフトヘナタリなどの出土と4a層で多く観察できたとする斑状の黒色土から、遺跡付近が当時アシ原であった可能性が高いとした。だが、感潮域の種の割合がそれほど高くなくことやアシ原の推定で利用されるカワザンショウガイをはじめとする微小貝 (数 mm 程度の小さなサイズの貝) が出土していないことから、現状では積極的な支持はできなかった。ただし、微小貝が認めら



※破片を除いた中で同定できた貝種 456 点より作成した。二枚貝は、貝合わせを行い、同一個体の有無を検証した。生息域は松島 (2003) を参考とした。マガキは、小型の汽水タイプと類似していたことから、感潮域として計数した。

第4図 出土貝類の組成 (生息域)

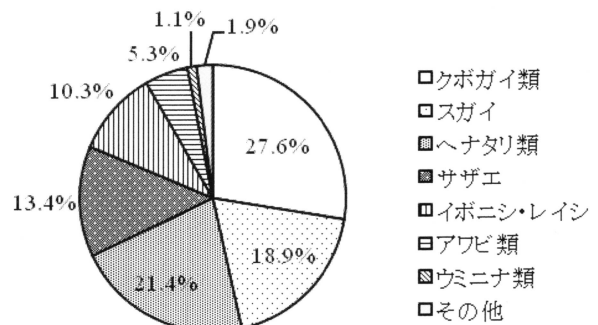
れない要因は、発掘調査段階でフルイを用いたサンプリングを行っていないことによるエラーの可能性も考えられるため、この点は今後に検証すべき課題である。微小貝は、製塩の指標となる可能性も指摘されており（黒住 2009）、当時の生業活動や環境を復元するうえでも今後はフルイを用いた調査が必要である。

さて、以上から窺われる古墳時代後半期の土井ヶ浜遺跡周辺の地形環境は、報告書（山田編 1997）でも触れられたように現在のそれとほぼ一致する。具体的には、遺跡の西約 400 m に土井ヶ浜海岸が南北に弧状にのび、その南端には神田岬の岩礁帯が存在し、北端にも小規模な岩礁帯をみることができ。また、遺跡北側には沼川という小河川が土井ヶ浜海岸に注ぎ込み、その河口には小規模な感潮域を形成する。このような地形環境は、今回定量的に分析した貝だまり遺構から出土した貝種の生息域ともよく一致しており、本遺構を形成した人々の貝採集活動域を推定するうえで参考となる。

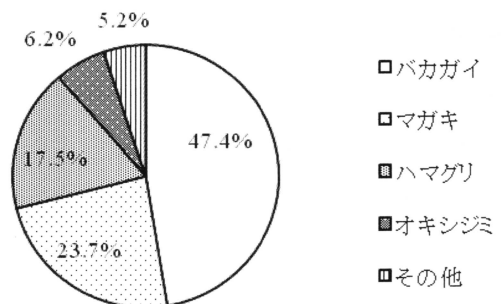
（2）食性について

腹足綱の中で最も多い貝種は、クボガイやクマノコガイの仲間が 99 点（27.6%）で最も多く、ヘナタリ類が 77 点（21.4%）、スガイが 68 点（18.9%）と続く（第 5 図上）。出土腹足綱の大半を小型巻貝が占めるが、アワビ類は多くが破片でありカウントできないため、本来は大型巻貝の割合がもう少し高いと考えられる。これをみると、クボガイ類やスガイなどが半数近く出土し、サザエやアワビといった食用種の代表的な種とあわせ、6 割以上を占めている⁵⁾。また、苦味や辛味の強いイボニシやレイシも 37 点（10.3%）出土している。イボニシやレイシは、貝紫と呼ばれ染色に利用される種としても知られており、食用以外の利用も考えられる。また、腹足綱の欠損部位は貝種によって異なっていることも特徴的で、フトヘナタリやヘナタリなどの細い形状の巻貝には殻頂（螺頭）の明らかな欠損がみられた。これはおそらく、報告書（山田編 1997）でも指摘されるように、基本的には口で吸いだして食すための人為的な欠損とみられる⁶⁾。

さらに、これら食用種の遺存状態をみると、まず、堅質な蓋に覆われているサザエやスガイは、完形の個体も認められるものの、大半は体層の欠損がみられた。体層の欠損は、食すための人為的なものと示唆される。一方、軟質な蓋をもつクボガイ類もまた、サザエやスガイ同様、体層が欠損するものも認められるが、サザエやスガイに比して完形の個体も目立つ。また、殻唇が広く、クボガイ類同様、蓋が軟質なイボニシやレイシは、全体的に個体数が少ないが欠損のない貝種である。この要因については、今後の研究に委ねる必要があるが、これらの種は先



腹足綱（巻貝）359 点



斧足綱（二枚貝）97 点

※破片を除いた中で計数できた貝種 456 点より作成した。二枚貝は、貝合わせを行い、同一個体の有無を検証した。

第 5 図 出土貝類の貝種組成

の尖ったもので軟体部を取り出して食していた可能性も示唆される。

斧足綱は、バカガイが 46 点 (47.4%) で最も多く、マガキが 23 点 (23.7%)、ハマグリが 17 点 (17.5%) と続く (第 5 図下)。その他に含まれるイガイを除いた斧足綱は全て、内湾砂底に生息する種で構成された。これも腹足綱と同じく現在の食用種の代表的な種であるバカガイ、マガキ、ハマグリで、8割以上を占めている。このうち、最も出土量の多かったバカガイには、ツメタガイ等の肉食性の貝によるとみられる穿孔が多く認められた。ところが実際のツメタガイの出土例は、焼きしまった破片 1 点 (SH-5-2) のみであった。この解釈としては、①ツメタガイの生息数が少なく、穿孔のあるバカガイは他の肉食性貝類による影響。②ツメタガイの生息数は多いが貝採集活動では未選択。という 2 つの可能性が考えられる。

①の場合は、他の肉食性貝類はイボニシやレイシなどが挙げられ、本遺跡でも出土している。だが、先述のとおり当時の周辺環境には内湾砂底も存在し、食餌対象である二枚貝も出土していることからツメタガイの生育に適した環境下でもあり、環境が要因で生息数が少なかったとはみなし難い。次に②の場合は、ツメタガイは苦みが強く、毒化する個体も知られているため現在でも食さない地域がある⁷⁾。また、中世以前の文献には未記載の種で、1568 (永禄 11) 年の『朝倉亭御世成記』での記載が初出であることや、1709 (宝永 7) の『大和本草』での解説に「其肉カタシ、味美ナラズ」や「食シテ人ニ益セズ」とあり (梶島 2002)、文献資料からはツメタガイを積極的に食用として利用していた状況は見出せない。このようにみれば、貝だまり遺構におけるツメタガイのあり方は意図的に採集しなかった可能性が示唆され、その意味では、一点のみ確認されたツメタガイが焼きしまった状態で出土したことも当時の人々の何らかの意図があったとも考えられる。今回の分析のみでは確かなことは言えないが、今後響灘沿岸部の遺跡より出土したツメタガイを集計することで、貝採集活動時の選択性的一端を読み解ける可能性がある。

5. おわりに

本稿は、土井ヶ浜遺跡第 15 次発掘調査貝だまり遺構から出土した貝類を同定・分析し、そこから窺われる古墳時代後半期の土井ヶ浜遺跡周辺の古環境ならびに食性について若干の指摘をおこなった。その結果、報告書 (山田編 1997) で予察された古環境について、貝類の定量的な分析に基づいてほぼ追証することができ、当時の人々の水産資源利用の一端についても指摘した。

ただし、今回の分析で同定された 586 点、24 種という質・量ともに豊富な貝類遺存体には、今後とも土井ヶ浜遺跡周辺の人間動態や古環境を復元していくための重要な情報が潜在しており、その情報を可能な限り引き出す作業が引き続き求められる。このような問題意識のもと、貝殻成長線分析を含めて今回触れることのできなかつた諸問題について後日改めて検討したい。

謝辞

本稿作成にあたり、岡山理科大学総合情報学部の富岡直人先生には多くのご配慮とご教示をいただいた。また、出土貝類の再整理や基礎データの作成にあたっては沖田絵麻氏にご協力を得るとともに、各種ご教示をいただいた。末筆ながら、お二人に心より感謝申し上げます次第である。

なお、本研究は、福武教育文化振興財団より助成を受けた平成 21 年度文化活動助成 伝統文化部門 No. 30 (調査研究)

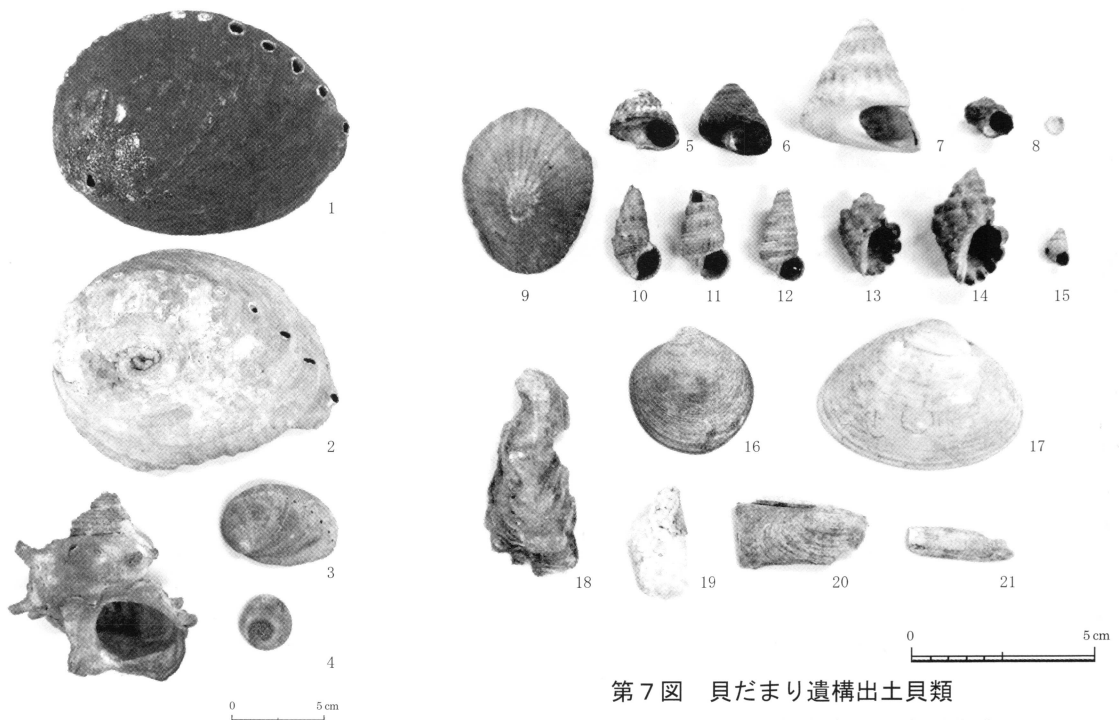
の成果の一部を含むものである。

註)

- 1) 岡山理科大学大学院修士課程
- 2) 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム学芸員
- 3) なお、第14次調査14-4区の報告は、第15次発掘調査報告書にてなされた。
- 4) 目下、貝殻成長線分析をはじめとして、獣骨や土器についても再整理と分析作業をおこなっているところであり、その成果報告を含め、本遺構の時期や性格については後日改めて稿を起こしたい。
- 5) これらの種は、地域によっては現在も市場にあがる。ちなみに、現在の下関市豊北町でもニイナと称され身近な食材として採集される種であり、観光客向けにも販売されている(沖田絵麻氏よりご教示を得た)。
- 6) ただし、巻貝の殻頂は生体でも欠損することが知られており、今回殻頂の欠損と計数した個体の全てが人為的な行為によるものとは言い切れない。
- 7) ツメタガイをはじめとする肉食性の貝、特にバイやボウシュウボラなどの肉食性貝類は、食性によって毒化することが知られている(野口1997)。

参考文献

- 奥谷喬司 編 2000『日本近海産貝類図鑑』[東海大学出版会]
 梶島孝雄 2002『資料 日本動物史』[八坂書房]: p. 175
 黒住耐二 2009『犬島貝塚から得られた微小貝類遺体(予報)』『犬島貝塚2009』[犬島貝塚調査保護プロジェクトチーム]: pp. 31-41
 野口玉雄 1997「毒化のミラクル」『貝のミラクル』[東海大学出版]: pp. 129-150
 波部忠重・奥谷喬司 1983a『貝 I 巻貝』[学習研究社]
 波部忠重・奥谷喬司 1983b『貝 II 二枚貝・陸貝・イカ・タコほか』[学習研究社]
 福田 宏・増野和幸・杉村智幸 1992『概説 山口県の貝類』[山口県立山口博物館]
 松島義章 2003『貝類の考古学』『環境考古学マニュアル』[同成社]: pp. 251-259
 山田康弘編 1997『土井ヶ浜遺跡第15次発掘調査報告書』[土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム]



第6図 貝だまり遺構出土貝類

- 1 クロアワビ 2 マダカアワビ(殻表にオオヘガイが固着)
 3 トコブシ 4 サザエ(殻体+蓋)

第7図 貝だまり遺構出土貝類

- 5 クボガイ 6 クマノコガイ 7 オオコシダカガンガラ 8 スガイ(殻体+蓋)
 9 マツバガイ 10 ウミニナ 11 フトヘナタリ 12 ヘナタリ
 13 イボニシ 14 レイシガイ 15 バイ目種不明 16 オキシジミ R.
 17 バカガイ L. 18 マガキ R. 19 イガイ L. 20 ニッコウガイ科種不明 R. 破片
 21 マテガイ科種不明 L. 破片

表2 土井ヶ浜遺跡第15次発掘調査員だまり遺構出土具類同定一覧

No.	枝番	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH2	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形	孔がみつ	96.10.14
SH3	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.14
SH4	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.14
SH5	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	破片	縁あり、変熱	96.10.14
SH5	2	腹足綱	ツメタガイ	-	殻体	破片	受熱	96.10.14
SH5	3	軟体動物門	不明	?	殻体	破片		96.10.14
SH6	1	腹足綱	マダガアワビ	L	殻体	完形	小型マダガキ	96.10.14
SH7	1	腹足綱	マダガアワビ	-	殻体	破片		96.10.14
SH8	1	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH8	2	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH8	3	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH8	4	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH8	5	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH8	6	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.14
SH9	1	腹足綱	クロアワビ	-	殻体	完形		96.10.14
SH10	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.10.14
SH11	1	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH12	1	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH12	2	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH12	3	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH13	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	2	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	3	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	4	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	5	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	6	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	7	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	8	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	9	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	10	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	11	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	12	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	13	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	14	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	15	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	16	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	17	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	18	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	19	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	20	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	21	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	22	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	23	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	24	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	25	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	26	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	27	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	28	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	29	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	30	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	31	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	32	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	33	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14
SH14	34	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.10.14

No.	枝番	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH34	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.15
SH35	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	破片		96.10.15
SH35	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	体層破片		96.10.15
SH35	4	腹足綱	イボニシ	-	殻体	破片		96.10.15
SH36	1	腹足綱	ウニ綱	-	殻体	縁欠損	マガイアワビ?	96.10.15
SH37	1	腹足綱	マダガアワビ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.15
SH38	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.15
SH38	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.15
SH39	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	縁		96.10.15
SH40	1	腹足綱	クボガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.15
SH40	2	腹足綱	クボガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.15
SH40	3	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH41	1	腹足綱	マダガキ	L	殻体	完形		96.10.15
SH42	1	腹足綱	マダガキ	L	殻体	完形		96.10.15
SH42	2	腹足綱	マダガキ	R	殻体	完形	SH42と同一個体?	96.10.15
SH43	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形	SH42と同一個体?	96.10.15
SH43	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH43	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH43	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH44	1	腹足綱	マツバガイ	-	蓋	完形		96.10.15
SH45	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.10.15
SH46	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.10.15
SH46	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.10.15
SH46	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.10.15
SH46	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.10.15
SH46	5	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	6	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	7	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	8	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	9	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	10	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	11	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	12	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH46	13	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH47	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH48	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH49	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH50	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH51	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH52	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH53	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH54	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH54	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH55	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH55	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH55	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH56	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH57	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH58	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH59	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH60	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH61	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH62	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH63	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH63	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH63	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15
SH63	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.15

No.	枝番	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH-81	18	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	19	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	20	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	21	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	22	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	23	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	24	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	25	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	26	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	27	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	28	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	29	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	30	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	31	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	32	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	33	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	34	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形		96.10.16
SH-81	35	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	38	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	39	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	40	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	41	脊足綱	バカガイ	R	殻体	完形	孔アリ	96.10.16
SH-81	42	脊足綱	バカガイ	R	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-82	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片	トコブシ? 強い成長障害アリ	96.10.16
SH-83	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.16
SH-84	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	体層欠損		96.10.16
SH-85	1	腹足綱	ササエ	-	蓋	完形		96.10.16
SH-86	1	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-86	2	脊足綱	マガキ	R	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-87	1	腹足綱	オキシジミ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-88	1	腹足綱	クボガイ	-	殻体	体層欠損		96.10.16
SH-88	2	脊足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	5	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	6	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-89	7	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-89	8	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-89	9	腹足綱	ササエ	-	殻体	殻		96.10.16
SH-89	10	脊足綱	バカガイ	LR?	殻体	腹縁破片		96.10.16
SH-89	11	硬骨類綱	目不明	?	部位不明	骨幹部		96.10.16
SH-90	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.16
SH-90	2	鞘胞動物門	ウニ綱	-	殻	破片		96.10.16
SH-91	1	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-91	2	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-91	3	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-91	4	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-91	5	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-91	6	腹足綱	マガキ	-	蓋	完形		96.10.16
SH-91	7	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	体層欠損		96.10.16
SH-91	8	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	破片		96.10.16
SH-92	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.10.16
SH-93	1	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-93	2	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-93	3	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-93	4	腹足綱	マガキ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-94	1	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-94	2	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-95	1	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16

No.	枝番	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH-64	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.16
SH-65	1	腹足綱	ササエ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-66	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.16
SH-66	2	腹足綱	ササエ	-	殻体	破片		96.10.16
SH-66	3	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-66	4	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-66	5	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-66	6	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-66	7	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-66	8	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-66	9	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-67	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-67	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-67	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-67	5	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-67	6	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-67	7	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-68	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-68	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-68	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-68	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-69	1	脊足綱	マガキ	R	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-70	1	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-70	2	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-70	3	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻頂欠損		96.10.16
SH-70	4	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	体層欠損		96.10.16
SH-71	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-71	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-72	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-73	1	腹足綱	ササエ	-	殻体	蓋		96.10.16
SH-74	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-74	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-74	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-74	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-75	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.16
SH-76	1	腹足綱	マガノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-77	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-77	2	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-77	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-77	4	鞘胞動物門	ウニ綱	-	殻	破片		96.10.16
SH-78	1	腹足綱	ササエ	-	殻体	体層破片		96.10.16
SH-79	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-80	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.16
SH-81	1	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.17
SH-81	2	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	3	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	4	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	5	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	6	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	7	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	8	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	9	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	10	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	11	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	12	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	13	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	14	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	15	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	16	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16
SH-81	17	脊足綱	バカガイ	L	殻体	完形		96.10.16

No.	仕様	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH-137	3	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.22
SH-137	4	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.22
SH-137	5	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-137	6	腹足綱	スガイ	-	蓋	完形		96.10.22
SH-137	7	腹足綱	殻足目	-	殻体	完形		96.10.22
SH-137	8	腹足綱	マガキ	R	殻体	殻唇欠損		96.10.22
SH-137	9	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.22
SH-138	1	腹足綱	カサガイ類	-	殻体	破片		96.10.22
SH-138	2	腹足綱	カサガイ類	-	殻体	完形	幼貝	96.10.22
SH-138	3	腹足綱	オナジマイマイ科	-	殻体	完形一部欠損		96.10.22
SH-139	1	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-139	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻唇破片		96.10.22
SH-139	3	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.22
SH-140	1	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-140	2	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-140	3	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-140	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-140	5	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-140	6	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-140	7	腹足綱	スガイ	-	蓋	完形		96.10.22
SH-140	8	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.10.22
SH-141	2	腹足綱	オキシジミ	R	殻体	完形		96.10.22
SH-141	3	刺胞動物門	ウニ綱	-	体	破片		96.10.22
SH-141	9	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻唇欠損		96.10.22
SH-142	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	破片		96.10.22
SH-143	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.10.23
SH-143	8	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	完形		96.10.23
SH-143	9	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	後腹縁欠損		96.10.24
SH-143	10	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	11	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	12	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	13	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	14	腹足綱	ハマグリ	L	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	15	腹足綱	ハマグリ	R	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	16	腹足綱	ハマグリ	R	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-143	17	腹足綱	ハマグリ	R	殻体	完形	貝殻成長線分析可能	09.10.24
SH-149	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.10.28
SH-150	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-150	2	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-151	1	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-151	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-151	3	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-151	4	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-152	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形一部欠損		96.10.29
SH-152	2	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.10.29
SH-153	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.10.29
SH-154	1	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-154	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.10.29
SH-155	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-155	2	腹足綱	オキシジミ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-156	1	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-156	2	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-156	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-157	1	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-158	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.10.29
SH-159	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.10.29
SH-160	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形	3c層	96.11.06
SH-161	1	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形一部欠損	3c層	96.11.07
SH-163	1	腹足綱	マガキ	L	殻体	完形		96.11.07
SH-164	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損	アワビ類が付着	96.11.07
SH-164	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-164	3	腹足綱	ハカガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-165	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-165	2	腹足綱	マガキ	L	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-166	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-167	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-167	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-167	3	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-168	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-168	2	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-169	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-169	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-169	3	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-170	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-170	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-170	3	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-171	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-172	1	腹足綱	マガキ	R	殻体	完形		96.11.07
SH-173	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-173	2	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-173	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-173	4	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-174	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-174	2	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-174	3	腹足綱	オナジマイマイ科	-	殻体	完形		96.11.07
SH-175	1	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-176	1	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-177	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-178	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-179	1	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-180	1	腹足綱	マガキ	L	殻体	完形		96.11.07
SH-181	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-181	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-181	3	腹足綱	マチガイ科	-	殻体	完形		96.11.07
SH-183	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-183	2	腹足綱	マガキ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-184	1	腹足綱	マガキ	LR?	殻体	完形		96.11.07
SH-185	1	腹足綱	イボニシ	LR?	殻体	完形		96.11.07
SH-186	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-187	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-188	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-188	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-188	3	腹足綱	スガイ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-188	4	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-188	5	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-189	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-190	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-190	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-191	1	腹足綱	トコブシ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-192	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-193	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-194	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-194	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-194	3	腹足綱	フトヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-195	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.07
SH-196	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-196	2	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-196	3	腹足綱	レイシ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-196	4	腹足綱	ヘナナリ	-	殻体	完形		96.11.07
SH-197	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.07

No.	枝番	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH-197	2	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-197	3	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-197	4	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-197	5	腹足綱	アワビ類	-	殻体	殻頂欠損		96.11.07
SH-197	6	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-197	7	腹足綱	ハカガイ	LR?	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-198	8	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-199	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-200	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-200	3	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-200	4	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-200	5	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-200	6	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-200	7	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-200	8	腹足綱	マガキ	R	殻体	完形		96.11.13
SH-201	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	3	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	4	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	5	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-201	6	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-201	7	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-201	8	腹足綱	クボガイ	-	殻体	殻頂破片		96.11.13
SH-201	9	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-202	1	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-202	2	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-203	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-203	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-203	3	腹足綱	スガイ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-204	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-204	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-204	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-204	4	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-205	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.13
SH-205	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.13
SH-205	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-206	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-206	2	腹足綱	マガキ	R	殻体	完形		96.11.13
SH-207	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-207	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-207	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-208	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-209	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-210	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-210	2	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-211	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-211	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-211	3	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-212	1	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-213	1	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-214	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-214	2	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-214	3	腹足綱	シオサザナミ科	L	殻体	完形		96.11.13
SH-214	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-215	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-216	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-217	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-217	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-217	3	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-217	4	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-217	5	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13

※SHNoは15次調査時の運取上げ番号をそのまま踏襲し、枝番号は今回の分析にあたって新たに付したものである。
※ハマグリ以外の貝類については計測は、管理簿の現生貝類を核対して、生物学・水産学的知見を得た上で今後、新たに取組む予定である。

No.	枝番	大分類	小分類	左右	部位	部分	備考	日付
SH-197	2	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-197	3	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.07
SH-197	4	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-197	5	腹足綱	アワビ類	-	殻体	殻頂欠損		96.11.07
SH-197	6	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-197	7	腹足綱	ハカガイ	LR?	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-198	8	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.07
SH-199	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-200	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-200	3	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-200	4	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-200	5	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-200	6	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-200	7	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-200	8	腹足綱	マガキ	R	殻体	完形		96.11.13
SH-201	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	3	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	4	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-201	5	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-201	6	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-201	7	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-201	8	腹足綱	クボガイ	-	殻体	殻頂破片		96.11.13
SH-201	9	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-202	1	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-202	2	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-203	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-203	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-203	3	腹足綱	スガイ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-204	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-204	2	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-204	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-204	4	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-205	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.13
SH-205	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形		96.11.13
SH-205	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-206	1	腹足綱	サザエ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-206	2	腹足綱	マガキ	R	殻体	完形		96.11.13
SH-207	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-207	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-207	3	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-208	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-209	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-210	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-210	2	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-211	1	腹足綱	イボニシ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-211	2	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-211	3	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-212	1	腹足綱	スガイ	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-213	1	腹足綱	フトヘナタリ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-214	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-214	2	腹足綱	クボガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-214	3	腹足綱	シオサザナミ科	L	殻体	完形		96.11.13
SH-214	4	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-215	1	腹足綱	クマノコガイ	-	殻体	完形		96.11.13
SH-216	1	腹足綱	サザエ	-	蓋	完形		96.11.13
SH-217	1	腹足綱	アワビ類	-	殻体	完形一部欠損		96.11.13
SH-217	2	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-217	3	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-217	4	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13
SH-217	5	腹足綱	スガイ	-	殻体	殻頂欠損		96.11.13

番号重複、95年度第14次調査?
アケボノキスタ?

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

研究紀要

第5号

発行年月日 2010年3月
編集・発行 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
〒759-6121 山口県下関市豊北町神田上 891-8
TEL 083-788-1841・1842
FAX 083-788-1843
印刷 アリフク印刷株式会社
〒759-5101 山口県下関市豊北町栗野 4896-8
TEL 083-785-0311
FAX 083-785-0312
